



ことぶき大学15期生の皆さん

たのしく健康に生涯学習
合川ことぶき大学入学式

合川ことぶき大学の入学式が12日、合川農村環境改善センターで行われました。式では新入生を代表して金田武彦さんが「先輩がたの指導のもと精一杯勉強し、たのしく健康に学習したい」とあいさつ。新入生13人を含め、117人の15期生が生涯にわたる勉学に向けて決意を新たにしました。

合川ことぶき大学は、昭和52年に開設され、60歳以上の方を対象に、生涯学習の観点から様々な学習をします。大学は2力年で卒業ですが、継続により4年で学士号、その後2年ごとに博士号、大司号、博大号、名誉博大号の称号が取得できます。

あじさいと子どもに愛情をこめて
誕生の森に記念植樹

子どもの健やかな成長を願い、誕生の森記念植樹が15日、合川地区の翠雲（すいうん）公園で行われました。今年は、平成16年4月2日〜17年4月1日までに生まれた38人（男の子23人、女の子15人）が対象で、この内29人とその家族が、あじさいの苗を記念植樹しました。

植えられたあじさいの横には記念標柱も立てられ、子どもの名前と生年月日、そして子どもへのメッセージが書かれ、「元気で大きく育ってね」、「幸せいっぱい的人生を送ってください」、「力持ちのやさしい子になつてね」など、わが子の元気な成長を願っていました。



あじさいと一緒に大きく元気に



絵本「ばあばとあそぼう」



山口敦子さん

孫の姿を暖かいまなざしで描写
山口敦子さん（旧阿仁町出身）絵本出版

現在東京都にお住まいで旧阿仁町出身の山口敦子さん（日本児童文芸家協会会員）の詩を収めた絵本「ばあばとあそぼう」がこのほど銀の鈴社から出版されました。ご自身の絵本創作の師でもある旧東由利町出身の高橋宏幸さんに絵を依頼し、山口さんと二人のお孫さんとの日常会話から生まれるほほ笑ましい場面などが描かれています。

山口さんは、18歳で上京して、看護の仕事しながら詩人を目指していました。現在は、保育所経営をしながら文筆活動に励み、多くの著書が出版されています。



見事なゼンマイが林立している栽培地

阿仁特産栽培ゼンマイ収穫始まる
丁寧な処理と品質の良さで定評

阿仁ゼンマイ栽培生産研究会会員のゼンマイの収穫が今年は例年より10日ほど遅く始まりしました。

会員55名、栽培面積は9・7haで、それぞれ転作田や畑、林内に定植し栽培しています。ゼンマイは他の山菜と違い収穫まで10年ほどかかると言われます。収穫後も乾燥ゼンマイにするまでは、手もみですとかかなりの労力を必要とします。

生のゼンマイ100kgを乾燥すると約10kgになります。主に乾燥ゼンマイとして販売しています。販売価格は、品質の良いもので1kg9千円〜1万円。今年の収穫量は、まずまずと言ったところです。



阿仁合小学校



鷹巣南中学校

4月下旬から5月にかけて市内21の小中学校で運動会が行われました。天候は様々でしたが、各校特色のある種目で、力いっぱい、元気よく競技を行いました。



鷹巣西小学校



米内沢小学校



合川西小学校

春の大運動会カメラスケッチ